

袋井市のラグビーワールドカップ 2019 応援イベントと同時開催 ふじのくに野外芸術フェスタ 2019 in 袋井 SPAC×袋井市×ラグビー×太宰治『走れメロス』

「ふじのくに野外芸術フェスタ」は、広場や公園、路上など、より身近な場所で演劇に出会えるお祭りとして、2013年より毎年開催されています。静岡市をはじめ浜松市、三島市、藤枝市、掛川市など県内各地で国内外のアーティストが野外パフォーマンスを行ってきました。

今年度は静岡市と袋井市を舞台とし、静岡市では去る5月駿府城公園で宮城聰演出の『マダム・ボルジア』を上演、県内外から2,000人を超える観客を動員しました。袋井市では、ラグビーワールドカップ2019応援イベント〈ふくろい野外音楽・芸術フェスタ in 月見の里〉と同時開催となります。来る9月21日、市民の憩いの場である「月見の里公園」にて、ラグビーと演劇が融合したSPACオリジナル野外音楽劇『走れメロス 袋井編』を上演します。

■ラグビーワールドカップを盛り上げるSPACオリジナル野外音楽劇

上演作品『走れメロス 袋井編』は、教科書などでも馴染みが深い太宰治の小説『走れメロス』を元にし、袋井市やラグビーにちなんだ演出がふんだんに盛り込まれています。主人公のメロスは、ラグビーチーム「フクロイーズ」のエース。メロスは、自分の身代わりとなって暴君ディオニスに捕らえられたキャプテンを救うため、ラグビーの試合に勝利し必ず戻ることを誓います。太宰の疾走感あるテキストを作品の軸に据えながら、ラグビーのパス回しや、ニュージーランド代表「オールブラックス」の試合前パフォーマンスとして知られる「ハカ」袋井バージョンなども飛び出します。

演出を務めるのは、藤枝を拠点に活動する劇団「ユニークポイント」主宰の山田裕幸。昨年好評を博した掛川での野外パフォーマンスに引き続き、会場の「月見の里公園」の特性を活かし、SPACの俳優たちが芝生広場を縦横無尽に駆け回る"アツい"作品に仕立てています。

■上演作品

『走れメロス 袋井編』

構成・演出：山田裕幸(ユニークポイント)

原作：太宰治

出演：SPAC／泉陽二、木内琴子、ながいさやこ、牧山祐大、若宮羊市

音楽監督：ヤストミフルタ(ユニークポイント)

演奏：島崎敦史、Asumi

公演日：9月21日(土) 11:00 / 15:00 開演

上演時間：約40分(予定)

会場：月見の里公園(※雨天決行) 無料・予約不要

〈ふじのくに野外芸術フェスタ〉

主催：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会、静岡県

共催：袋井市、袋井市教育委員会

連携：ふくろい野外音楽・芸術フェスタ in 月見の里

東京2020公認文化オリンピック／静岡県文化プログラム／beyond2020プログラム／静岡県 子どもが文化と出会う機会創出事業



©平尾正志



(写真上：メロス役・ながいさやこ、
下：会場での出演者集合写真)

●ふじのくに野外芸術フェスタに関するお問い合わせや取材のご希望は、
「SPAC - 静岡県舞台芸術センター 広報担当 西村・坂本」までご連絡下さい。
Tel:054-203-5730 / Fax:054-203-5732 / E-mail:nishimura@spac.or.jp

■演出家プロフィール



山田裕幸（やまだ ひろゆき）

劇作家、演出家、ユニークポイント代表、白子ノ劇場芸術監督。約25年間、東京を拠点に国内外で上演活動を行ってきたが、2015年より静岡に移り、18年藤枝市に白子ノ劇場を開設。地域に根差した創作で活動の幅を広げている。



同時開催 <ふくろい野外音楽・芸術フェスタ in 月見の里>

SPACの野外劇のほか、アート、音楽、スポーツ、食などの文化・芸術に触れる様々な催しがあり、ラグビー体験コーナーも用意されます。

9月21日（土）10:00～16:00

会場：袋井市月見の里学遊館、水玉プール、月見の里公園

お問合せ：袋井市月見の里学遊館（静岡県袋井市上山梨4-3-7）

Tel.0538-49-3400（9:00～17:00／木曜休館）

主催：袋井市、袋井市教育委員会、（一社）袋井市文化協会

■袋井市月見の里学遊館・月見の里公園

月見の里学遊館は静岡県出身の建築家・長谷川逸子氏による設計で、ホール、ワークショップルーム、図書館、プール、フィットネスルームなどを備えた複合型ワークショップセンターとして2001年にオープンした。隣接する月見の里学遊館と一体的に設計された月見の里公園には、野外ステージ、多目的広場、水遊び広場などがあり、市民の憩いの場となっている。

www.tsukiminosato.com



©平尾正志

★袋井市での SPAC アウトリーチ事業

SPACでは「野外芸術フェスタ」のほかにも、演劇を身近に感じてもらうため、アウトリーチ活動や屋外パフォーマンスなど出張企画を行っています。

月見の里学遊館

11月3日（日） SPAC リーディング・カフェ（読む台本：『ペール・ギュント』）

メロープラザ

12月7日（土） SPAC リーディング・カフェ（読む台本：『グリム童話』）

2020年

1月11日（土） 演劇ワークショップ

2月11日（火） 朗読公演『鶴の話』（『走れメロス 袋井編』ディオニス役の木内琴子も出演）

*SPAC アウトリーチ活動に関するお問い合わせは、

担当 仲村・計見・雪岡・宮川までご連絡ください。（Tel：054-203-5730／E-mail：recafe@spac.or.jp）



9月8日リーディング・カフェの様子